



2016（平成28）年5月12日

各 位

会 社 名 生 化 学 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 水 谷 建
（コード番号 4548 東証第一部）
問 合 せ 先 執 行 役 員 総 務 部 長 鳥 居 美 香 子
（TEL. 03-5220-8950）

新中期経営計画(2016年度～2018年度)の策定に関するお知らせ

当社は、2016年度から2018年度までの中期経営計画を策定しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 「生化学工業10年ビジョン」(当社が目指す姿)

医薬品産業の経営環境は、深刻化する医療財政の逼迫や国境を越えた企業の大型再編、創薬研究の技術革新とそれに伴う新薬開発競争の激化などにより、大きな変革期にあります。

このような状況のなか、当社は2009年3月に「生化学工業10年ビジョン」を策定し、『グローバル・カテゴリー・ファーマ』として発展することを目指しています。

【生化学工業10年ビジョン】

- コンスタントなペースで新薬（医療機器を含む）を上市し、3年程度に1つ経営の柱となり得る市場を開拓できる実力を涵養する。
- 糖質科学に研究開発の焦点を絞って、国際競争力を確立する『グローバル・カテゴリー・ファーマ』として着実な成長を持続する。

2. 前中期経営計画(2012年度～2015年度)の総括

2009年4月より3ヵ年の中期経営計画をスタートさせ、ビジョン達成に向けた第1ステップとして「基礎体力の養成と体制の構築」に取り組み、その成果と反省をもとに、2012年4月から第2ステップとして4ヵ年の中期経営計画を策定しました。当計画のもと「10年ビジョン達成に向けた萌芽形成」を目標とし、研究・開発・生産・販売の各重点戦略に対して積極的な投資を行い、成果の芽を出すことに努めてきました。

前中期経営計画期間中においては、国内では医療費抑制策が加速するなかで、関節機能改善剤市場が厳しさを増しており、アルツはシェアを増加させたものの、売上高は減少しました。一方で、海外医薬品は前提よりも円安基調で推移したこともあり、計画を上回りました。特に、戦略製品である米国の単回投与関節機能改善剤ジェル・ワンは、販売体制の確立に時間を要したことから緩やかな立ち上がりとなりましたが、着実に売上を伸ばしつつあります。LAL事業は米国子会社の売上拡大により、当社を支える柱のひとつに成長しています。

生産面においては、高萩工場第5製剤棟の稼働開始など、当期間中に取り組んできた複数の大型設備投資が完了し、中長期的な安定供給体制が整いました。

新薬開発では、複数のテーマを並行して開発する体制を構築しつつあり、諸テーマが開発後期段階へステージアップしました。腰椎椎間板ヘルニア治療剤 SI-6603 は、国内第Ⅲ相臨床試験で良好な結果を得て、2014年1月に日本での承認申請に至りました。また米国で実施中の第Ⅲ相臨床試験も順調に進展しています。しかしながら、日本での審査が継続しており、承認取得には時間を要している状況です。

以上により、目標である「10年ビジョン達成に向けた萌芽形成」については、芽吹いた成果がある一方で、一部課題を残す結果となりました。

<前中期経営計画 数値目標と実績>

	2015年度目標	2015年度実績
売上高	315億円	309億円
営業利益	30億円	21億円

3. 新中期経営計画（2016年度～2018年度）の概要

前中期経営計画で得られた成果と課題をもとに、10年ビジョンの最終ステップとして2016年4月から始まる3ヵ年の新中期経営計画を策定しました。本計画では、重点地域とする米国での更なる販売拡大を図るとともに、腰椎椎間板ヘルニア治療剤 SI-6603 の国内上市・米国承認取得や、既存製品の市場への進出を目指します。また、そのために必要となるグローバル基準の生産・品質管理体制を強化します。

さらに、次世代の飛躍につながる創薬・育薬パイプラインの充実を図るために基盤技術を確立し、更なる成長に向けた強い研究開発組織を構築します。

<キーコンセプト>

- 「ACT for the Vision ～10年ビジョンの達成と更なる飛躍～」
 - Active spirit : 積極的な姿勢と
 - Creative mind : 創造的な発想で
 - Takeoff : 飛躍していく
- 事業環境の厳しさを跳ねのけ、10年ビジョンを達成し、『グローバル・カテゴリー・ファーマ』として勝ち残る。

<重点戦略>

- (1) 腰椎椎間板ヘルニア治療剤 SI-6603 の確実な進展
 - ① 日本での上市と、適正使用を確保しつつ拡販を実現する。
 - ② 潜在市場規模の大きい米国での事業化を目指す。
- (2) 変形性ひざ関節症市場におけるリーディングカンパニーとしての進化
 - ① 成長ドライバーであるジェル・ワンの米国売上拡大及び新規市場展開を推進する。
 - ② 製品改良等により、国内アルツの販売数量を維持する。
 - ③ 次世代品となる関節機能改善剤 SI-613 の開発を推進する。
- (3) 開発パイプラインの充実
 - ① 糖質科学分野において他社を凌駕する基盤技術を保持し、探索研究を加速させ、持続的に開発テーマを創製する。
 - ② 臨床開発力の向上により、パイプラインのステージアップを着実に進展させる。
- (4) 最適な生産・品質管理体制の追求
 - ① 製品の安定供給に加え、更なる生産効率化の推進により、原価低減を実現する。
 - ② 規制動向に迅速に対応し得る、グローバル基準の生産・品質管理体制を強化する。

<数値目標>

	2016年度予想	2018年度目標
売上高	295億円	320億円
営業利益	10億円	25億円
経常利益	33億円	45億円

* 数値目標の前提条件

- ① 海外事業の拡大で国内薬価改定による減収をカバー（海外売上高比率：45%）
- ② 研究開発費は高水準で推移（対売上高比率：25%～30%）
- ③ 各種受取ロイヤリティーを営業外収益として織り込む
- ④ 為替レート：対米ドル110円

4. 配当方針の変更

当社は、株主価値の向上を重要な経営課題の一つとして位置づけており、株主の皆さまへの利益還元を充実させるとともに、研究開発や生産体制整備等の事業投資にバランスよく取り組むことで持続的成長の実現を目指します。

株主還元につきましては、中長期的な視点に立ち、安定的かつ継続的な配当を目指し、1株当たり年間26円を継続する方針です。また、今後の事業展開や総還元性向を勘案しながら、自己株式の取得を適宜検討していきます。

*本リリース内の計画及び予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

以上

本件に関するお問い合わせは次にお願いします。
生化学工業株式会社 総務部 IR・広報担当
田中・梅本 TEL. 03-5220-8950